

# Transit/TermStar

Transit NXT サービスパック 9、2016 年 6 月

## 概要

### 1 連絡先

### 2 インストールガイドおよびマニュアル

### 3 新機能および変更点

- 3.1 サービスパック 9 の改善点
- 3.2 サービスパック 8 Update 4 の改善点
- 3.3 サービスパック 8 の改善点
- 3.4 サービスパック 7 の改善点
- 3.5 サービスパック 6 の改善点
- 3.6 サービスパック 4 の改善点
- 3.7 サービスパック 3 の改善点
- 3.8 サービスパック 2 の改善点
- 3.9 サービスパック 1 の改善点
- 3.10 バージョン 4.0.0.671 の改善点

### 4 解決済みの問題

- 4.1 Transit
- 4.2 TermStar

## 1 連絡先

ご不明な点はお近くのシュタール社にお問い合わせください。シュタール各社の詳細はシュタールグループのウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) の **STAR Group worldwide** を参照してください。

## 2 インストールガイドおよびマニュアル

Transit と TermStar に関する最新のインストールガイド、マニュアル、その他関連文書（Quick Installation Guides & User Documentation）はシュタールグループのウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) の **[Downloads]** | **[Transit & TermStar NXT]** を参照してください。

## 3 新機能および変更点

### 3.1 サービスパック 9 の改善点

#### 3.1.1 インストールに関する拡張

#### Windows 10 搭載コンピュータでの動作

Transit/TermStar NXT は Windows 10 に対応しました。

### 3.1.2 作業言語に関する拡張

#### 追加の作業言語

バリエーションを含む 8 つの言語に追加対応：

- タジク語 (TAJ)
- スペイン語 (アメリカ合衆国) (EST)、スペイン語 (国際) (ES1)
- パシュトー語 (PAS)、ダリー語 (PRS)
- ブルトン語 (BRE)、コルシカ語 (COS)
- マオリ語 (MRI)

### 3.1.3 プロジェクト交換に関する拡張

#### MemoQ プロジェクトに対応

MemoQ ハンドオフパッケージ (\*.mqout) をアンパックして翻訳し、MemoQ ハンドバックパッケージ (\*.mqback) としてパックできるようになりました。

#### 圧縮された XLIFF プロジェクトに対応

圧縮された XLIFF プロジェクトをシンプルな Transit プロジェクトとしてアンパックし、翻訳を圧縮された XLIFF プロジェクトとしてパックできるようになりました。これにより、複数の XLIFF プロジェクトを 1 つの Transit プロジェクトとして扱うことができるため、場合によっては内部重複や内部ファジーマッチの増加により翻訳が楽になります。

### 3.1.4 リソースバーにおける拡張

#### [ インターフェース ] リソースボタン

MemoQ ハンドオフパッケージのアンパックと、MemoQ ハンドバックパッケージへの翻訳のパックが簡単に実行できるようになりました ([ インターフェース ] | [ MemoQ ])。

### 3.1.5 フォーマットチェックオプションにおける拡張

#### セグメントステータス

選択した最小セグメントステータス以下のステータスを持つセグメントをチェックできるようになりました。

フォーマットチェック中に最小セグメントステータス以下のステータスを持つセグメントが見つかったら警告メッセージが表示され、[ ファイルナビゲーション ] ウィンドウのエラータブに表示されます。

#### バリエーションチェック

プロジェクト内の翻訳および原文のバリエーションをチェックできるようになりました。

見つかったバリエーションは [ ファイルナビゲーション ] ウィンドウの [ バリエーション ] タブに表示されます。

バリエーションのチェックはフォーマットチェックの一部として行うことも (リボンバー [ レビュー ] | [ フォーマットチェック ] | [ オプション (▼) ])、リボンバー [ レビュー ] | [ バリエーション ] | [ 開始 ] から単独で行うことも可能です。

#### 一度無視したエラーをフォーマットチェック時にスキップ

フォーマットチェックの実行時に、以前のフォーマットチェックで無視したエラー (例外として確定したものなど) をスキップすることができるようになりました。

スキップするためには、フォーマットチェックの実行前に、リボンバー [ レビュー ] | [ フォーマットチェック ] | [ 開始 (▼) ] の下にある [ 無視したエラーを再チェックしない ] オプションを選択します。

### 3.1.6 ツールウィンドウでの作業の拡張

#### [ファイルナビゲーション] ウィンドウ

[ファイルナビゲーション] ウィンドウのエラータブでの作業用に新しいショートカットキーが追加されました。

--- [ファイルナビゲーション] ウィンドウでのタブの切り替え : CTRL + PageUp / PageDown

--- 次の / 前の無視していないエラーへ移動 : CTRL + ↓ (下矢印) / ↑ (上矢印)

--- ターゲットウィンドウのエラーを含むセグメントへジャンプ : CTRL + → (右矢印)

--- エラーの無視 : CTRL + I

--- リストからエラーを消去 : CTRL + D

#### [検索/置換] ウィンドウ

Transit エディターで選択したテキストが、[検索/置換] ウィンドウの [検索] フィールドに自動的に挿入されるようになりました。

#### [PDF プレビュー] ウィンドウ

PDF ファイルを選択するために [開く] アイコンをクリックすると、自動的に作業フォルダ内の Attachments フォルダを開くようになりました。

Attachments フォルダがない場合は、作業フォルダが開きます。

#### ファジーウィンドウ/[デュアル訳語検索] ウィンドウ/[ダイナミックリンク] ウィンドウ

Transit エディターだけでなく、ファジーウィンドウ、[デュアル訳語検索] ウィンドウ、および [ダイナミックリンク] ウィンドウでもマークアップの種類を表示できるようになりました。

ウィンドウを右クリックし、コンテキストメニューから [表示オプション] ウィンドウを開いて、[種類を伴うマークアップ ID の表示] を選択します。

### 3.1.7 ステータスバーにおける拡張

#### ステータスバーにツールチップを表示

ステータスバーのすべてのセクションにツールチップが表示されるようになりました。

#### セグメントフィルタの情報

ソースウィンドウおよびターゲットウィンドウにセグメントフィルタが適用されているか否かの情報がステータスバーに表示されるようになりました。

#### 文字列の長さチェックの情報

アクティブなセグメントに対する文字列の長さチェックの設定値と実際の文字列の長さがステータスバーに表示されるようになりました。

### 3.1.8 対応ファイル形式に関する拡張

#### MS Office 2016 に対応

Microsoft Office 2016 ドキュメントをインポートして翻訳できるようになりました。

#### MS Visio 2013 / 2016 に対応

Microsoft Visio 2013 / 2016 ドキュメントをインポートして翻訳できるようになりました。これらのファイルをインポートするには、MS Office フィルタか、MS Visio 2013-2016 フィルタを使用します。

#### Adobe InDesign CC 2015 に対応

Adobe InDesign CC 2015 ドキュメントをインポートして翻訳できるようになりました。

#### FrameMaker 2015 に対応

FrameMaker 2015 ドキュメントをインポートして翻訳できるようになりました。

## AutoCAD 2013 - 2016 に対応

AutoCAD 2013 - 2016 ドキュメントをインポートして翻訳できるようになりました。

## XML DocBook に対応

DocBook DTD を使用した XML ファイルをインポートして翻訳できるようになりました。

## Word ドキュメントに埋め込まれた Visio 2013 オブジェクトに対応

Word ドキュメントに埋め込まれた Visio 2013 オブジェクトをインポートして翻訳できるようになりました。

### 3.1.9 リソースバーにおける拡張

#### [ インターフェース ] リソースボタン

[ インターフェース ] リソースボタンから、Dita および DocBook ファイル用のプロジェクトを簡単に作成できるようになりました ([ インターフェース ] | [ DITA / DocBook ] | [ DITA (XML) ] / [ DocBook (XML) ])。

### 3.1.10 品質レポートのオプションにおける拡張

#### バリエーションチェックを含む品質レポート

プロジェクトに含まれるすべての翻訳および原文のバリエーションを品質レポートに出力できるようになりました。品質レポートは、HTML、Excel、または XML ファイルとして保存するか、[ ファイルナビゲーション ] ウィンドウの [ バリエーション ] タブに表示できます。

品質レポート機能 ([ 統計情報 ] | [ 品質 ]) はオプションであり、ライセンス番号によって制御されます。

### 3.1.11 参照材料のメンテナンスに関する拡張

#### [ 参照材料の修正 ] ウィンドウ

[ 参照材料の修正 ] ウィンドウが改訂され拡張されました。

検索オプション、フィルタオプション、ジャンプ / 置換オプションが明確に区別されました。検索条件およびフィルタ条件に一致するすべてのセグメントが、ファイル名とセグメント番号を含む結果リストとして表示されるようになりました。

アクセスステータスを使用したセグメントのフィルタリングも可能になりました。

このウィンドウで、選択したセグメント、またはファイル内で見つかったすべてのセグメントを、参照材料として使用するかどうか設定することができます。

### 3.1.12 TermStar に関する拡張

#### MS SQL Server 2014 および Oracle 12 に対応

MS SQL Server 2014 および Oracle 12 上で TermStar データベースを実行できるようになりました。

#### データベース内にマルチメディアファイルを保存

データベース内の辞書に挿入したマルチメディアファイルを保存できるようになりました。

これにより、すべての用語集データを 1 つのデータソースに収めることができます。

この新機能は、TermStar NXT サービスパック 9 で作成したデータベースでのみ使用できます。

サービスパック 8 以前で作成したデータベースでこの機能を使用したい場合は、データベースのコンテンツを TermStar NXT サービスパック 9 で作成したデータベースにコピーする必要があります。

#### 新しいデータベースの辞書のデフォルト

データベース内に作成されたすべての辞書に任意のデフォルト設定をを設定することができます。

これらのデフォルト設定には以下が含まれます：

--- マルチメディアファイルアクセス

--- クロスリファレンスセパレータ

--- 追加のソートフィールド

--- 変更のトラック

--- 固有識別子（GUID）の作成

この新機能は、TermStar NXT サービスパック 9 で作成したデータベースでのみ使用できます。

サービスパック 8 以前で作成したデータベースでこの機能を使用したい場合は、データベースのコンテンツを TermStar NXT サービスパック 9 で作成したデータベースにコピーする必要があります。

#### データベース内へのマルチメディアファイルの移動

データベースのコピー時に、マルチメディアファイルをファイルシステムからデータベースへ移動することができるようになりました。

#### データレコードの変更を改訂として記録

データレコードの各変更を改訂ステップとして記録できるようになりました。後で各改訂ステップを比較し、必要に応じて、データレコード全体または特定のフィールドコンテンツを元に戻すこともできます。

この機能はオプションです。この機能に関する詳細はお近くのシュタール社へお問い合わせください。

#### データレコードに対してクロスリファレンスを作成

任意のエントリフィールドのテキストをデータレコードへのクロスリファレンスとして使用できるようになりました。

クロスリファレンステキストは、参照したい用語のエントリと一致させる必要はありません。

ターゲットデータレコードの用語またはその他のフィールドを変更しても、クロスリファレンスは保持されます。クロスリファレンスのターゲットはデータレコード ID または GUID です。

#### 追加のデータレコードフィールド

TermStar のデータモデルは下記のように拡張されました：

--- クロス言語用にヘッダフィールド「定義」と「定義ソース」が追加

--- 同じ言語のすべての言語エントリ用に言語フィールド「定義」と「定義ソース」が追加

#### ステータスバーにツールチップを表示

TermStar のステータスバーのすべてのセクションにツールチップが表示されるようになりました。

#### TermStar Gate : MS Word 2016 に対応

TermStar Gate が Microsoft Word 2016 に対応しました。

アドイン「TermStar Gate for Word」はシュタールグループのウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) のダウンロードエリア内 [Downloads] | [Transit NXT & TermStar NXT] | [Accessories] からダウンロードできます。

詳細は「TermStar Gate for Word - Installation & Usage」マニュアルを参照してください。

#### 3.1.13 TM コンテナの拡張（オプション）

TM の翻訳言語方向を問わず、プリトランスレーション/ファジーマッチを使用できるようになりました。

参照材料として TM コンテナ / TM フィルターを選択する時に、基軸言語を指定できるようになりました。これにより、多言語の TM を翻訳方向を問わず柔軟に使用でき、以前に翻訳したことのない言語の組み合わせであっても、場合によってはプリトランスレーションやファジーマッチを利用できます。

#### TM コンテナのコンテンツの編集における拡張

TM コンテナの開きたいコンテンツを選択するためにファイル名のパターンを使用できるようになりました。

#### TM コンテナのコンテンツの削除における拡張

TM コンテナの削除したいコンテンツを選択するためにファイル名のパターンを使用できるようになりました。

言語を個別に選択してコンテンツを削除できるようになりました。

## TM コンテナのエクスポートにおける拡張

言語を個別に選択してコンテンツをエクスポートできるようになりました。

また、TMX エクスポートのオプションが追加されました（最小セグメントステータス、保護されたセグメントのエクスポート）。

## 属性のプロパティにおける拡張

自動的にソートされた値リストのための属性タイプ「リストの並べ替え」が追加されました。

既存の属性のタイプを変更できるようになりました。

以前の属性プロパティ「必須」は名称が「必須 (ID)」に変更になりました。さらに、「必須」という名前の新しいプロパティがサポートされるようになりました。

## MS SQL 2014 に対応

TM コンテナサーバーとして MS SQL Server 2014 を使用できるようになりました。

## 3.2 サービスパック 8 アップデート 4 の改善点

### 3.2.1 WebTransit における更新

更新された WebTransit は Transit/TermStar NXT に統合されています。

複数の問題は更新された WebTransit バージョンで解決されています。

さらに、エージェントモード接続での作業が改善されました。

ジョブリストをスクロールすると、他のユーザーが現在 "reserved"（予約）しているジョブを見ることができるようになりました。予約状態のジョブの押しピンボタンはグレイアウトされます。

また、ジョブリストのジョブのツールヒントで、ジョブを現在処理しているのが誰か、またはジョブを最後に処理したのは誰かを確認できるようになりました。

## 3.3 サービスパック 8 の改善点

### 3.3.1 新機能：改訂セグメントの作業

#### 改訂ステップの記録と比較

セグメントごとの翻訳作業にて改訂内容を記録できるようになりました。翻訳プロセスのいずれの段階（例：翻訳、校正、客先校正）においても極めて実用性があります。

プルーフリーディングモードでの作業および翻訳パッケージ（TPF）をアンパックしての作業にて、以下に該当する場合は改訂内容を記録できます。

--- 新しいセグメントステータスが割り当てられる際

--- および / または異なる Transit ユーザーによって改訂される際

後で翻訳の改訂ステップを表示させ、[改訂ステップを比較] ウィンドウに表示し、比較して元に戻すこともできます。

[セグメント情報] ウィンドウには現在のセグメントに対する改訂の有無と回数が表示されます（"[メモ] ウィンドウの改訂" も参照）。

#### 改訂を伴うセグメントへジャンプ

リボンバー [レビュー] | [プルーフリーディング] | [ナビゲート] のナビゲーション機能を利用することもできます。

#### 改訂を伴うセグメントを抽出

改訂が記録されたセグメントのみを抽出できます。



### 3.3.2 インストールに関する拡張

#### Windows 8.1 搭載コンピュータでの動作

Transit/TermStar NXT は Windows 8.1 に対応しました。

### 3.3.3 対応ファイル形式に関する拡張

#### FrameMaker 12 に対応

Transit および FMGate は Adobe FrameMaker 12 に対応しました。

プラグイン「FMGate」はシュタールグループのウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) のダウンロードエリア内 **[Downloads]** | **[Transit NXT & TermStar NXT]** | **[Accessories]** からダウンロードできます。詳細は「*FMGate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

#### InDesign CC 2014 に対応

InDesign CC 2014 用の InDesign Gate がリリースされました。

--- Adobe InDesign CC2014 (Windows) での作業に使用する InDesign Gate

--- Adobe InDesign CC2014 (Mac) での作業に使用する InDesign Gate

プラグインはウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) のダウンロードエリア内 **[Downloads]** | **[Transit NXT & TermStar NXT]** | **[Accessories]** からダウンロードできます。詳細は「*InDesign Gate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

#### MS Office 2013 に対応

Transit が現在対応している形式：

--- MS Word 2013

--- MS Excel 2013

--- MS PowerPoint 2013

#### WebVVT 形式の字幕テキストに対応

字幕テキストを翻訳するためのオプションフィルタは以下のファイル形式に対応しました：

Subtitling (WebVTT) : WebVTT 形式の字幕テキスト用

### 3.3.4 作業言語に関する拡張

#### 追加の作業言語

バリエーションを含む 8 つの言語に追加対応：

--- アルメニア語、ビルマ語、ラオス語

--- ボスニア語（キリル、ボスニア・ヘルツェゴビナ）、セルビア語（キリル、モンテネグロ）

--- フィリピン語（フィリピン）

--- ドイツ語（標準）

### 3.3.5 ユーザー環境の設定における拡張

#### 追加項：起動時の設定

[ユーザー環境の設定] に新たに追加された **[起動時の設定]** では、次回に Transit を起動する際のダイアログ言語のみでなく「動作」も選択できるようになりました。

#### 追加項：作業言語

[ユーザー環境の設定] に新たに追加された **[作業言語]** では、任意の作業言語を選択できるようになりました。

### 改訂項：フォルダの選択

[**フォルダの選択**]では該当するパスを選択することによってアクティビティごとにデフォルトのフォルダを選択できます。項目が追加および整理され、透明度が増幅しました。

### 改訂項：TermStar

[**TermStar**]ではデータレコード内で[追加の言語]を表示する順番を選択できるようになりました。

### [ユーザー環境の設定]ウィンドウのタイトルに現在のユーザー名を表示

現在のユーザーの名前（フルネームと略称）が[**ユーザー環境の設定**]ウィンドウのタイトルに表示されるようになりました。いずれのユーザーであるかに留意して環境設定を定義できます。これは1台のTransitを複数のユーザーが使用する場合に有用です。

## 3.3.6 プロジェクト設定における拡張

### [メッセージ]タブ：プロジェクト特定の情報

プロジェクトにおいて特定のアクションが実行されたときに表示させるメッセージを[**メッセージ**]タブで定義できます。

翻訳者またはチェッカーが特定の処理を実行するときに表示する重要な情報や作業手順をメッセージとして表示させることも、プロジェクトマネージャ自身にとっての「デジタルリマインダー」として利用することもできます。

### [フォーマットチェック]タブ：フォーマットチェックオプションのセットを開く

たとえば特定の顧客または文書に合わせて選択されたフォーマットチェックのオプションをセットとして呼び出すことができるようになりました。

リボンバー[**レビュー**][**フォーマットチェック**][**オプション**][**フォーマットチェック**]ウィンドウでフォーマットチェックのオプションを選択してセットとして保存できます。

## 3.3.7 Transit エディターにおける拡張

### マークアップセグメントを隠す

マークアップの表示方法に関わらず、マークアップセグメント（編集不可能なマークアップのみのセグメント）を非表示にすることができるようになりました。

### セグメントフィルタに一致するセグメントのハイライト

特定のセグメントフィルタ条件（セグメント情報およびコンテキスト）に一致するセグメントをハイライトできるようになりました。リボンバー[**ビュー**][**セグメント**][**色**]で選択できます。セグメントフィルタを適用して該当するセグメントのみを抽出表示させるのではなく、すべてのセグメントを表示させたままで条件に一致するセグメントを識別できます。

### セグメントフィルタに一致するセグメントへのジャンプ

特定のセグメントフィルタ条件（セグメント情報およびコンテキスト）に一致するセグメントをハイライトすることができるようになりました。リボンバー[**プロセス**][**翻訳**][**ナビゲート**]および[**レビュー**][**ブルーフリーディング**][**ナビゲート**]を利用します。セグメントフィルタを適用して該当するセグメントのみを抽出表示させるのではなく、すべてのセグメントを表示させたままで条件に一致するセグメントを識別できます。

### インポート直後のステータスを考慮したセグメントへのジャンプ

専用のショートカットキーを利用して[未翻訳]、[要チェック]などインポート直後のステータスを指定して該当するセグメントへジャンプできるようになりました。旧来は「現在のセグメントステータス」のみが考慮されていました。

## 3.3.8 Transit ツールにおける拡張

### [メモ]ウィンドウの改訂

旧来の[メモ]ウィンドウには[**セグメント情報**]ウィンドウという新しい名前が付けられ、表示も刷新されました。コメントを入力するためのフィールドも一目で分かるようになりました。

改訂が記録されたセグメントについては改訂の回数と、改訂によってもたらされた翻訳テキストの相違が[**セグメント情報**]ウィンドウに表示されます。



## **[ 検索 / 置換 ] ウィンドウの改訂**

[ 検索 / 置換 ] ウィンドウはより直感的に操作できるようになりました。

さらに、[ 検索 ] に関する機能が追加されました。検索を実行してエディタ上の該当する用語に移動するのみでなく、以下の操作が可能になりました：

- 検索ストリングの出現回数をカウント
- 検索ストリングが含まれるセグメントのみを抽出
- 検索ストリングに一致するアイテムのマーキング

## **任意の PDF ファイルを PDF プレビューに表示**

[ 開く ] アイコンを使用して、任意の PDF ファイルを PDF プレビューに開くことができるようになりました。

## **3.3.9 プロジェクト交換に関する拡張**

### **ユーザー自身の参照マテリアルを使用しての再プリトランスレーション**

ユーザー自身の参照マテリアルを使用してプリトランスレーションを実行するため、アンパックしたプロジェクトに対してプリトランスレーションを繰り返して実行できるようになりました。XLIFF と SDLPPX についても同様に再プリトランスレーションの実行が可能です。

### **プロジェクトに任意のファイルを同梱**

プロジェクトマネージャが PPF を作成する際、任意のファイルを同梱できるようになりました。

PPF を受け取った翻訳者が同梱データが格納されたフォルダを開くには、リボンバー [ **プロジェクト** ] | [ **交換 (Transit / XLIFF / SDLPPX)** ] | [ **同梱データの表示** ] を選択します。

### **プロジェクトのパックおよび転送におけるオプション**

プロジェクトをパックまたは転送するときのオプション選択を保存できるようになりました。これにより次回にプロジェクトをパックまたは転送するとき、同じオプションがあらかじめ選択されます。

## **SDL Trados で作成されたプロジェクトパッケージでの作業**

SDL プロジェクトパッケージ (\*.sdlppx) のアンパックと、SDL 翻訳返却パッケージ (\*.sdlrpx) のパックが実行できるようになりました。これにより SDL Trados で生成されたプロジェクトでも Transit で翻訳できるようになりました。

## **3.3.10 統計レポートのオプションにおける拡張**

### **100% マッチの分析**

100% マッチを単独の項とせず、第一のファジーマッチ範囲（例：80%～100%）に包含して統計情報を取得できるようになりました。

### **行数とページ数：四捨五入**

統計情報の行数とページ数について、小数点以下の桁数を指定できるようになりました。

### **統計情報における行数とページ数の算出**

統計情報のレポートには行数およびページ数の換算基準（例：55 文字 / 行）が示されるようになりました。

### **保存直後に統計レポートを開く**

統計情報のレポートを保存した直後、該当するアプリケーションで開くことができるようになりました。

## **[ 改訂を伴う ] および [ コメントを伴う ] のセグメントすべてを含む品質レポートの作成**

HTML、Excel または XML 形式で保存することのできる品質レポートでは、[ 改訂を伴う ] および [ コメントを伴う ] セグメントを確認できるようになりました。

品質レポート機能（[ **統計情報** ] | [ **品質** ]）はオプションであり、ライセンス番号によって制御されます。

### 3.3.11 フォーマットチェックにおける拡張

#### フォーマットチェックの選択オプションをセットとして再利用

[フォーマットチェック]ウィンドウで選択したオプションをセットとして保存できるようになりました。これにより、特定の顧客または文書に合わせて選択されたフォーマットチェックのオプションをセットとして呼び出すことが可能です。

保存されたフォーマットチェックのオプションセットは呼び出すことができます（リボンバー [レビュー] | [フォーマットチェック] | [オプション (▼)]、[フォーマットチェック]ウィンドウ、[プロジェクトの設定]ウィンドウ内 [フォーマットチェック] タブ）。

### 3.3.12 セグメントフィルタにおける拡張

#### ファジーマッチ品質を基準

ファジーマッチに実際に使用されたか、ファジーマッチに使用できる見込みがあったかを考慮してセグメントを抽出できるようになりました。

#### コメントを伴うセグメント

特定の内容を含むコメントを伴うセグメント、または内容に関わらずコメントを伴うセグメントすべてを抽出できるようになりました。

#### 使用した参照マテリアルを考慮

特定の参照マテリアルを使用して翻訳されたセグメント、またはいずれかの参照マテリアルを使用して翻訳されたセグメントを抽出できるようになりました。

#### 参照マテリアルの翻訳言語方向を考慮

翻訳時に使用した参照マテリアルの翻訳言語方向を特定してセグメントを抽出できるようになりました。

### 3.3.13 機械翻訳における拡張

#### エディター MT : MyMemory に対応

Transit エディター上でセグメントごとに機械翻訳の訳例をリクエストする際に *MyMemory* を利用できるようになりました。

#### エディター MT : Microsoft Translator に対応

Transit エディター上でセグメントごとに機械翻訳の訳例をリクエストする際に *Microsoft Translator* を利用できるようになりました。

#### インポート MT : STAR MT に対応

インポート時に機械翻訳訳例を生成させるために *STAR MT* を利用できるようになりました。注：この MT エンジンの利用はオプションであり、ライセンス番号によって制御されます。

#### インポート MT : AsiaOnline に対応

インポート時に機械翻訳訳例を生成させるために *AsiaOnline* を利用できるようになりました。注：この MT エンジンの利用はオプションであり、ライセンス番号によって制御されます。

### 3.3.14 TermStar に関する拡張

#### [辞書を開く]ウィンドウの改訂

[辞書を開く]ウィンドウは以下のとおり改訂されました：

--- [プロジェクト辞書] と [追加の辞書] は個別のペインに表示されるようになりました。

--- 個別のタブに開かれた辞書の名前の先頭には [開かれた辞書] アイコンが置かれます。

--- プロジェクトに設定されている辞書を誤って閉じてしまったとき、[プロジェクト辞書をもう一度開く] ボタンを押すとプロジェクトに設定されているすべての辞書が再度開かれます。

## 重複するデータレコードのフィルタリング

TermStar の新しいデフォルトのデータレコードフィルタとして **[重複]** が追加されました。このフィルタを利用して重複するソース言語のエントリおよびサブエントリを表示させることができます。

## メインまたはサブエントリの番号を基準にしてのフィルタリング

データレコードフィルタを作成する際、ソース言語のメインまたはサブエントリに特定の番号を伴うデータレコードのみを表示させることができますようになりました。

## 重複チェックにおける拡張

新しいデータレコードを作成する際、言語に関わらずエントリおよびサブエントリすべてを対象に重複がチェックされるようになりました。

ある辞書から別の辞書へデータレコードをコピーする場合、または、あるデータレコードから別のデータレコードへ言語エントリをコピーする場合、言語に関わらずエントリおよびサブエントリすべてを対象に重複がチェックされるようになりました。

## ランゲージペアと [ラピッドエントリ] ウィンドウとの切替え

Transit エディターで開かれたランゲージペアと **[ラピッドエントリ]** ウィンドウとの切替えができるようになりました。これによりランゲージペア上で用語をコピーして、**[ラピッドエントリ]** ウィンドウ内に貼り付けることができます。

## TermStar データベースエキスパートでの辞書の統計情報生成

TermStar データベースエキスパート上で選択した辞書に対して、データレコードとエントリの統計情報を取得できるようになりました。

## 辞書の右ページでの新規データレコード作成

辞書の右ページで新規データレコードを作成できるようになりました。コンテキストメニューの **[新規作成 (右ページ)]** を選択するか、**[Ctrl]** キーを押しながら **[プロセス][データレコード][作成]** をクリックすると、辞書の右ページで新規データレコードを作成できます。

## 辞書のエクスポート：CSV 形式のフィールドセパレータ

辞書を CSV 形式へエクスポートする際、フィールドセパレータにセミコロンかタブのいずれかを選択できるようになりました。

## 既存するデータレコードとエントリの GUID を作成

辞書の設定として **[固有識別子 (GUID) の作成]** オプションの **[新規エントリ用]** および / または **[新規データレコード用]** を選択した場合、既存のエントリおよび / またはデータレコードに対して GUID を割り当てるかというオプションが利用できるようになります。

また、**[固有識別子 (GUID) の作成]** オプションを非選択にした場合、既存のエントリおよび / またはデータレコードすべての GUID を削除するためのオプションが利用できるようになります。

## データのマージ：用語または GUID を基準にエントリを判別

**[マージエキスパート]** ウィンドウの **[データのマージ]** タブにて、**[用語]** か **[エントリ GUID]** のいずれを基準にしてエントリを区別するか選択できるようになりました。

たとえば校正者によって改訂された辞書をオリジナル辞書とマージする場合は **[エントリ GUID]** を基準にしてエントリを判別する必要があります。

## データの同期：初出までの検索

インポートされる各データレコードの同期フィールドのコンテンツが無い、またはターゲットデータレコードは 1 つのみと把握できている場合、この新しいオプションを使用することができます。

通例、データレコード GUID による同期を選択する（例：校正者によって改訂された辞書をオリジナル辞書と再マージする）場合に該当します。

## 値リストの値をアルファベット順に並べ替え

並列または階層構造を伴う単言語の値リストの値をアルファベット順に並べ替えることができるようになりました。

## フィールドコンテンツの検索、割当て、削除における拡張

言語およびフィールドに関わらず、すべてのテキストの検索と置換が実行できるようになりました。さらに、いずれの言語であろうと選択したフィールドにテキストを割り当てる、および削除することもできるようになりました。

## MT システムへインポートするための用語集エクスポート

TermStar データベースエクスパートを経由して、MT システムへ用語集をインポートするために TermStar 辞書をエクスポートできるようになりました。

### 3.3.15 WebTransit における更新

更新された WebTransit は Transit/TermStar NXT に統合されています。

最新の WebTransit では既存機能のパフォーマンスが向上され、解決された問題もあります。

[ **接続の複製 (エージェントモード)** ] を選択することにより、シングルユーザーモードの接続をエージェントモードに接続に切り替えることができるようになりました。詳細は「WebTransit User's Guide」を参照してください。.

## 3.4 サービスパック 7 Update 14 の改善点

### 3.4.1 WebTransit : 改訂と拡張を含む最新版

#### [ **最後のイベント** ] ウィンドウ : すべての接続に関する新規ジョブとメッセージの概要

--- STAR CLM サーバーへの接続すべてに関する新規ジョブとメッセージが最新の [ **最後のイベント** ] ウィンドウに随時表示されます。

Transit で作業をしているときは [ **最後のイベント** ] ウィンドウを目立つ場所へ表示させておくこともできます。

#### GUI 要素のデザインが改訂されたことによるユーザーフレンドリ性の向上

--- WebTransit の GUI は全体的に意味の分かりやすいアイコンに刷新されました。

--- ジョブリスト上のジョブごとに表示されるアイコンの上にカーソルをかざすと、アイコンの意味を示すツールチップが表示されるようになりました。

--- ジョブリストにはジョブに関するより詳細な情報を表示するためにカラムが改訂・追加されました。

--- [ **ジョブの詳細** ] ウィンドウも拡張され、ジョブリストに新たに追加されたカラムの情報が表示されるようになりました。

--- [ **接続設定** ] ウィンドウのオプションは論理的に再構築され、意味を分かりやすくするためにタブの名称も改善されました。

--- WebTransit にはオンラインヘルプ (英語版) が新たに搭載されました。

#### より簡便なジョブの削除

--- ジョブごとにメッセージが表示されることなく、複数のジョブを一括して削除できるようになりました。

--- 納期が特定の日時以前のジョブすべてを削除できるようになりました。

--- ジョブを削除する際、作業フォルダの Transit データ (例: 今後の参照マテリアルとする翻訳済みランゲージペア) を保持できるようになりました。

#### 接続を管理するための動作改善

--- 新規接続を設定または既存の接続を変更する際、設定を完了する前に接続テストが実行されるようになりました。

--- [ **接続オーバービュー** ] 上で特定の接続をダブルクリックすると、該当する接続がアクティブに切り替わるようになりました。

--- 接続に [ **マルチユーザーモード** ] が設定されていてもジョブが拒否できるようになりました。接続設定で該当するオプションを選択する必要があります。

## TM コンテナでの参照マテリアル管理に対応

--- Transit の有償オプションである「TM コンテナ」で管理される参照マテリアルが使用できるようになりました。

## ジョブリストの詳細を別のアプリケーションにコピー

--- ショートカットキー（[Ctrl] + [C]）を使用してジョブリスト全体またはジョブリストの一部をコピーして Excel や Word などのファイルへコピーできるようになりました。

## カスタマーに対するさらなる柔軟性

--- すでにサプライヤーに提供された後でも、カスタマーはジョブをキャンセルすることができるオプションが追加されました。該当する場合、サプライヤーへの通知が発信されます。

## 3.5 サービスパック 7 の改善点

### 3.5.1 OpenOffice/LibreOffice のサポート

以下の OpenDocument をベースとした形式に対応しました。

--- OpenOffice（バージョン 2.0 以上）

--- LibreOffice（バージョン 3.3 以上）

--- IBM Lotus Symphony 3.x

これらのファイル形式をインポートする際、ファイルタイプには [OpenOffice/LibreOffice/OpenDocument] を選択してください。

詳細は「*Filter & Supported File Formats*」マニュアルを参照してください。

### 3.5.2 FrameMaker 11 に対応

Transit および FMGate は Adobe FrameMaker 11 に対応しました。

プラグイン「FMGate」はシュタールグループのウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) のダウンロードエリア内 [Downloads] | [Transit NXT & TermStar NXT] | [Accessories] からダウンロードできます。詳細は「*FMGate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

### 3.5.3 字幕テキストの翻訳機能

Transit では動画の字幕テキストもインポートして翻訳できるようになりました。

この字幕翻訳機能のため、以下の新規フィルタ（ファイルタイプ）に対応しました。

--- 字幕 (SubRip) : SubRip 形式の字幕

--- 字幕 (テキスト) : テキスト形式の字幕

**注:** これらのフィルタはオプションであり、ライセンス番号によって制御されます。

これらのファイルタイプでは Transit エディター上でのマルチメディアファイルの同期再生をサポートしています。マルチメディアプレビューではアクティブなセグメントの動画シーケンスが再生されるので、字幕が使用されるコンテキストを把握することができます。動画シーケンスの再生を（該当セグメントにカーソルを置くとすぐに）自動的に実行するか、ユーザーが手動で操作するかを選択できます。

### 3.5.4 Microsoft Word スペルチェック機能の統合

Microsoft Word のスペルチェック辞書に基づいたスペルチェックを実行できるようになりました。

Microsoft Word スペルチェックはリボンバー [レビュー] | [スペルチェック] | [参照元] から選択できます。

**注:** オプション [MS Word] は、Microsoft Word のバージョン 2002 以上が利用可能な環境でのみ選択できます。Microsoft Word スペルチェック辞書がローカルにインストールされているコンピューター上でのみ、Transit で利用可能です。

### 3.5.5 機械翻訳機能のサポート

サービスパック 7 以降、Transit で機械翻訳 (MT) システムを利用することができます。

以下の二通りの MT 機能があります。



### --- 顧客特有の MT システム (例 : SYSTRAN、SmartMATE)

Transit では、顧客特有の MT システムの使用は翻訳対象ファイルのインポート時に限定されます (「インポート MT」と呼ばれる)。

インポート MT はプロジェクトごとにプロジェクトマネージャーが [プロジェクト設定] ウィンドウの [機械翻訳] タブで設定します。

特定のセグメントのテキストがインポート MT に送信されて翻訳された場合、ファジーウィンドウには MT 訳例が表示されます。ファジーウィンドウに表示される「インポート MT 訳例」は通常の「ファジーマッチ」が検出された場合でも、一目で判別できます。

**注 :** インポート MT はオプションであり、ライセンス番号によって制御されます。

### --- 不特定のオンライン翻訳サービス (Google 翻訳、iTranslate4eu)

オンライン機械翻訳サービスは Transit エディターでのみ利用可能で、翻訳者によるリクエスト操作をセグメントごとに実行する必要があります (「エディター MT」と呼ばれる)。

エディター MT は [ユーザー環境の設定] | [機械翻訳] で翻訳者が設定できます。

「エディター MT 訳例」を表示させるにはランゲージペア上でリクエスト操作を実行します。アクティブなセグメントで右クリックメニューを表示させ、[機械翻訳リクエスト] をクリックします。

ファジーウィンドウの最上段に「エディター MT 訳例」は通常の「ファジーマッチ」が検出された場合でも、一目で判別できます。

## 3.5.6 形態検索の対応言語の追加

辞書エントリに対する形態検索の対応言語が追加されました。

バスク語、カタロニア語、ポルトガル語、デンマーク語、ノルウェー語 (ブークモール)、スウェーデン語、オランダ語、ポーランド語、チェコ語、スロバキア語、スロベニア語、ハンガリー語、ロシア語、ルーマニア語

## 3.5.7 多言語プロジェクト : 複数のターゲット言語に対する統計レポートを 1 ステップで生成

複数のターゲット言語を含むプロジェクトで、ターゲット言語ごとに統計レポートを作成して保存する必要がなくなりました。

1 つのターゲット言語を対象にレポート (Excel および html 形式) を保存する際、全言語の統計情報を保存するか、ターゲット言語ごとの個別の統計情報を保存するかを選択できます。

## 3.5.8 用語抽出機能の拡張

ランゲージペアから用語を抽出して辞書へインポートする手順は、以下のとおり最適化されました。

### 熟語の抽出

複数の単語から成る熟語の抽出が可能となりました。英語やラテン系の言語では特に効果を発揮します。

### 抽出中の語形変化

ランゲージペア上、すべての用語は基本形で入力されてはいません。辞書へインポートする前に抽出された用語を [用語の抽出] ウィンドウ上で直接編集することができます (例 : 複数系を単数形に変更)。

用語を編集するには [その他の候補] に表示される用語をクリックして選択します。再度クリックすると用語の編集が可能になります。変更後に確認し、[Enter] キーを押します。

### 用語候補に関する追加情報

[用語の抽出] ウィンドウでは登録候補の用語に関して以下の情報が扱えるようになりました。

--- [発生頻度による抽出] : ランゲージペア内での出現回数

--- [ワード数による抽出] : 「用語」に含まれる単語数

--- [参照] : 該当する用語が含まれるセグメント全体を表示

### 用語候補の数を制御

以下のように条件を設けて、候補として抽出される用語を制限できます。

--- ランゲージペア内の最小 / 最大出現回数を指定。最大数の指定は必須ではありません。

--- 「用語」 (例 : 熟語) として含まれる最小 / 最大の単語数を指定。最大数の指定は必須ではありません。



## 抽出用語の登録先辞書の選択

抽出した用語を新規辞書へインポートすることに加え、既存の辞書へもインポートできるようになりました。抽出用語はマージされるのではなく、新規データレコードとしてすべて追加されます。

## 3.5.9 プロジェクトおよびファイルタイプの設定における拡張

### 非表示のセル/スライドはインポート対象外とする

Excel または Open Office Calc 上で非表示にされた行や列、PowerPoint または Open Office Impress 上で非表示にされたスライドはインポートの対象外にすることができるようになりました。インポート対象外に指定することで、非表示のスライドやセルは確実に元の状態で保持されます。

このため [ファイルタイプの設定] ウィンドウには新しいオプション [非表示のセル/スライドの翻訳] が追加されました。[ファイルタイプの設定] ウィンドウは [プロジェクトのインポート] ウィンドウまたは [プロジェクトの設定] | [ファイルタイプ] から開くことができます。

この機能は MS Office、Excel、OpenOffice/LibreOffice/OpenDocument のプロジェクトで利用が可能です。

### 特定の段落スタイルを伴うテキストはインポート対象外とする

複数のファイル形式のファイルタイプ設定では新しいオプション [対象外とする段落スタイル] を利用できます。これにより、特定の段落スタイルが付与されたテキストコンポーネントをインポート対象外とすることができるようになりました。

これには、インポートしない段落スタイルの名前を含む段落スタイルリストを事前に作成し、選択しておく必要があります。

この新しいオプションは以下のファイル形式で利用可能です。

- Adobe FrameMaker
- Adobe InDesign
- QuarkXPress
- MS Word
- OpenOffice / LibreOffice / OpenDocument
- RTF
- WordPerfect

詳細は「*Filter & Supported File Formats*」マニュアルを参照してください。

### インポート中にソース言語のフォーマットを最適化

ソース言語ファイル内に含まれる不要なフォーマットをインポート中に削除するオプションが追加されました。これにより不要なマークアップの乱入を回避し、翻訳とマークアップの割当てに要する労力を削減することができます。

このオプションのため [ファイルタイプの設定] ウィンドウには新しいセクション [ソース言語のフォーマットを最適化] が追加されました。[ファイルタイプの設定] ウィンドウは [プロジェクトのインポート] ウィンドウまたは [プロジェクトの設定] | [ファイルタイプ] から開くことができます。

対象ファイルのインポートを実行する前に、以下の不要なフォーマットを削除するように選択できます。

- セクション区切り / 段区切り / 改ページ / タブのフォーマット
- 単一スペースに対する太字 / 斜体
- 単一スペースに対するフォント設定すべて

この機能は Transit NXT に標準装備されているすべてのファイル形式で利用することができます（対象外：Interleaf、AutoCAD、XML）。

### InDesign ファイルのブックマーク名をインポート

サービスパック 5 以降、InDesign ファイルのブックマーク名をインポートし、Transit エディター上で編集することは可能です。サービスパック 4 以前ではブックマークの名前はインポートされませんでした。このためサービスパック 4 以前でインポートされた参照マテリアルを使用すると、プリトランスレーション率の低下などが見受けられていました。

サービスパック 7 ではブックマークの名前をインポートするかをプロジェクトファイル内で指定するオプションが追加されました。

プロジェクトファイルをテキストエディターで開き、以下のパラメータを使用します。

```
[ImportExport]  
ShowBMTtitle=0
```

--- 0 (デフォルト) : ブックマークの名前をインポートしないオリジナルのままの状態ドキュメントに保持されます。

--- 1 : : ブックマークの名前をインポートする Transit エディター上で翻訳できます。

ブックマークの名前をインポートするには、このパラメータの値を 1 に設定します。

### 3.5.10 プリトランスレーションのオプションに関する拡張

#### プリトランスレーションの優先順位オプションの追加 : 翻訳方向

現在のランゲージペアと翻訳方向が同じ (つまり、ソース言語とターゲット言語が同じ) 参照マテリアルを、優先させてプリトランスレーションを実行できるようになりました。このためプロジェクト設定の [プリトランスレーション] タブ、[参照マテリアルの優先順位] セクションに [翻訳方向] リストが追加されました。

この新しい優先オプションについては Transit NXT の旧バージョンとの互換性は保障されていません。

#### 注 :

サービスパック 7 に更新された Transit NXT で作成したプロジェクトをサービスパック 6 以前の Transit NXT で作業する場合、以下にご注意ください。

--- プロジェクト設定の [プリトランスレーション] タブに [翻訳方向] オプションは表示されません。その他のオプションのみが表示されます。

--- プリトランスレーションにおいて [翻訳方向] は考慮されません。その他の優先オプションでは選択された値が考慮されます。

選択された優先順位はファジーマッチウィンドウでのファジーマッチの表示順序にも影響します。必要に応じて調整できます。

#### 変更されていないセグメントは参照マテリアルから除外

[プロジェクト設定] ウィンドウの [プリトランスレーション] タブで、参照マテリアル内で変更されていないセグメントはプリトランスレーションに使用しないよう指定することができるようになりました (オプション [変更されていないセグメントはプリトラに使用しない] を選択)。

「変更されていないセグメント」とは、つまり、ソース言語とターゲット言語のコンテンツがマークアップも含め同一であるセグメントのことです。

### 3.5.11 プロジェクトの交換に関する拡張

#### TPF を 2 回目にアンパックするときの警告

TPF ファイルはダブルクリックでアンパックできますが、すでにアンパック済みの TPF を再度アンパックしようとする時警告が表示されるようになりました。既存データの上書きを回避することができます。

### 3.5.12 Transit エディターにおける拡張

#### ファジーウィンドウおよびメモウィンドウに参照マテリアルの翻訳方向に関する情報を表示

[ファジー] ウィンドウと [メモ] ウィンドウに、参照マテリアルの翻訳方向に関する情報が表示されるようになりました。

ファジーウィンドウでは翻訳方向に関する情報を示す 3 つのアイコンのいずれかが表示されます。[メモ] ウィンドウには [REF の翻訳方向] フィールドが追加され、以下の 3 つの値のいずれかが表示されます。同一 (ソース / ターゲット言語が REF と同一)、逆 (ソース / ターゲット言語が REF とは逆)、間接 (現在のソース / ターゲット言語は、REF プロジェクトではどちらもターゲット言語であった)。

#### 注 :

参照マテリアルが Transit NXT サービスパック 7 以上で作成された場合にのみ、ファジーウィンドウおよびメモウィンドウに参照マテリアルの翻訳方向に関する情報が表示されます。

ファジーウィンドウに参照セグメントの翻訳方向を示すアイコンを表示させるか、指定することもできます。Transit ボタン [ユーザー環境の設定] | [デュアルファジー] | [翻訳方向を示すアイコンを表示] を選択します。

### 脚注または索引の参照内容を該当マークアップの位置に表示

脚注または索引に該当するテキストが含まれるセグメントを簡単に見つけられるオプションが装備されました。脚注または索引と、該当するコンテンツのセグメントの翻訳品質を向上させることができます。

脚注または索引のコンテンツを表示させるため、脚注マーカーまたは索引アンカーに該当するマークアップにカーソルをかざすとバブルウィンドウが表示されます。右クリックメニューまたはショートカットキーを使用して、脚注または索引のセグメントと、コンテンツのセグメントとの間を簡単にジャンプできます。

### マークアップ ID と共にマークアップの種類を表示

Transit エディター上でのマークアップの表示に関する新しいオプションがリボンバーの [ビュー] | [テキスト / マークアップ] | [オプション] に追加されました。[種類を伴うマークアップ ID] により、マークアップ ID に加えてマークアップの種類が表示されます。マークアップの種類 (画像、索引、フォント、ボールド体など) を簡単に判別できます。

マークアップの種類についての識別コードは [マークアップ] ウィンドウにも表示されます。

### 3.5.13 ユーザビリティに関する拡張

#### ファイルタイプ設定のために改善されたウィンドウ

ファイルタイプごとのオプションを判別および使用しやすくするため、以下のウィンドウ / タブが改善されました。

--- [プロジェクトの設定] ウィンドウの [ファイルタイプ] タブ

--- [ファイルタイプ設定] ウィンドウの [フィルタ] タブ

#### [プロジェクトのインポート] ウィンドウにおけるユーザビリティの改善

[プロジェクトのインポート] ウィンドウにおけるユーザビリティが拡張されました。

--- 新たに追加された [ファイルタイプの設定] ボタンにより [ファイルタイプの設定] ウィンドウをダイレクトに表示

--- 参照材料を追加して再インポートを実行する場合に、用途が一目瞭然の [再インポートのオプション]

#### 用語チェックのメッセージ改訂

プロジェクト辞書に登録されている訳語が翻訳で使用されていない場合、用語チェックによりメッセージが表示されます。このメッセージテキストが改訂されました。

#### 用語ウィンドウからダイナミックリンクを呼び出すための新しいアイコン

用語ウィンドウに表示されるダイナミックリンクを呼び出すためのアイコンは、リボンバーの [ウィンドウ] | [開く] | [ダイナミックリンク] と同じアイコンが採用されました。同じ機能には同じアイコンが使用されます。

#### TermStar : ダブルクリックで辞書を開く

[辞書を開く] ウィンドウで辞書名をダブルクリックすれば、該当する TermStar 辞書が開けるようになりました。

### 3.5.14 ユーザー環境の設定における拡張

#### [ユーザー環境の設定] ウィンドウでの Transit エディターに関するオプション

選択内容を保存できるよう、以下のオプションが [ユーザー環境の設定] ウィンドウの [Transit エディター] タブに追加されました。

--- 索引と脚注にバブルウィンドウを表示

--- キーボード自動切替え

--- ソーステキストの大文字を保持

--- バックアップの作成 (分単位)

#### [ユーザー環境の設定] の [デュアルファジー] における拡張

[ユーザー環境の設定] ウィンドウの [デュアルファジー] タブに、リボンバーの [マッチ] | [ファジー検索 (ソース)] または [マッチ] | [ファジー検索 (ターゲット)] で使用可能なオプションのすべてが含まれました。

## ソース言語のバックグラウンド検索で [ 不許可用語 ] を考慮

[ ユーザー環境の設定 ] ウィンドウの [ 用語検索 ] オプションに新しいオプションが追加されました ( [ ソース言語 : 不許可用語を考慮 ] )。このオプションによりバックグラウンドでの用語検索および用語チェックにおいて、辞書に登録されている [ 不許可用語 ] がソース言語で使用されているかをチェックできます。

### 3.5.15 TMX エクスポートに関する拡張

#### 現在のプロジェクトを TMX としてエクスポート

現在のプロジェクトを TMX ファイルとしてエクスポートできるようになりました。

リソースバーの [ 参照マテリアル ] にメニュー [ TMX のインポート / エクスポート ] | [ 現在のプロジェクトを TMX のエクスポート ] が追加されました。

#### TMX エクスポートに関する新しいオプション

現在のプロジェクトまたはその他データ (いずれかのプロジェクト、参照マテリアルが格納されたフォルダ、参照ファイル) を TMX ファイルとしてエクスポートする際、以下の 2 つのオプションが追加されました。

--- ソース言語とターゲット言語でコンテンツが同一のセグメントはエクスポート対象外とする (オプション [ 変更されていないセグメントもエクスポート ] を非選択にする)。

--- 特定のステータス以上のセグメントのみをエクスポートする (オプション [ 最小セグメントステータス ] を選択)。

詳細は Transit/TermStar NXT Reference Guide (英語版) の「2. Exchanging reference material via TMX」を参照してください。

### 3.5.16 内部重複に関する拡張

#### XLIFF : 内部重複セグメントのサポート

XLIFF プロジェクトをアンパックした場合、アンパックされたデータの内部重複セグメントを解析できるようになりました。

Transit でインポートした標準的なプロジェクトと同様に、内部重複に関する機能を利用できます (例 : 内部重複モードの使用、Transit レポートでの内部重複カウント)。

#### TTX : 内部重複セグメントをサポート

TTX ファイルをインポートした場合、オプション [ TTX ファイルの翻訳済みセグメントを保存、Transit のプリトランスレーションの対象外 ] が選択されていても、生成されたランゲージペア上の内部重複セグメントを解析できるようになりました。

Transit でインポートした標準的なプロジェクトと同様に、内部重複に関する機能を利用できます (例 : 内部重複モードの使用、Transit レポートでの内部重複カウント)。

### 3.5.17 参照マテリアルの取扱いに関する拡張

#### 参照マテリアルに使用しないセグメントを個別に指定

特別な理由により参照マテリアルには使用しないセグメントを個別に指定できるようになりました。後で参照マテリアルに使用するように再設定することもできます。

参照マテリアルに使用しないよう設定されたセグメントのみを抽出表示させることもできます (セグメントフィルタを使用)。

#### 参照マテリアルとしてランゲージペアをソートするための新機能

リソースバーの [ 参照マテリアル ] | [ 現在のプロジェクトを REF フォルダにコピー ] を利用して、完了したプロジェクトのランゲージペアを体系的に保存することができます。

選択した REF フォルダへランゲージペアをコピーする方法を指定できるのみでなく、ファイル名の重複を回避するためのオプションも利用できます。

### 3.5.18 TM コンテナで参照材料を管理

参照材料を TM コンテナで管理できるようになりました。

サーバー上に TM コンテナを作成し、参照材料であるランゲージペアまたは TMX ファイルをインポートして格納します。ランゲージペアまたは TMX ファイルには、特定の顧客や課題などの属性を割り当てることができます。属性を基に、TM コンテナのビューを作成することができます。

特定のプロジェクト用の参照材料として TM コンテナの特定のビューを利用することができるため、顧客や課題に限定した参照材料を使用することができます。

*注*：TM コンテナはオプションです。この機能に関する詳細はお近くのシュタール社へお問い合わせください。

### 3.5.19 ツールウィンドウの拡張

#### TermStar : [Web 検索] 機能の拡張

[Web 検索] 機能が以下のとおり拡張されました。

--- [検索] ボタンをクリックしなくても検索サイト呼び出すことができるようになりました。サイト名の横の地球儀のアイコンをクリックします。

--- 検索ストリングを入力した後、[Enter] キーを押すとウェブ検索が開始されます。

#### [PDF プレビュー] ウィンドウにターゲット言語での Word プレビューも表示

[PDF プレビュー] ウィンドウにはソース言語の PDF のみが表示されてきましたが、ターゲット言語の Word プレビューも表示できるようになりました。

Word プレビューを生成するには、ターゲットウィンドウ内で右クリックメニューを表示させてオプション [Transit でのプレビュー表示] を選択します。

### 3.5.20 TermStar : エントリタイプの変更

編集モードでの右クリックメニューのオプション [エントリタイプを次へ変更] を使用して、エントリタイプを素早く簡単に変更できるようになりました。

たとえば同義語を不許可用語に（サブエントリからサブエントリへ）、メインエントリからサブエントリへ、またはその逆も変更を行うことができます。

### 3.5.21 TermStar : ファイル DSN の対応

データベース接続（ODBC 接続）を成立させるため新しく DNS タイプにも対応しました。

データベース接続を設定するために必要とされるアクセスデータを含む DSN（Data Source Name）は DSN ファイルとして、Transit/TermStar インストールフォルダの `\config\global` または `\config\users\ に保存できるようになりました。`

特に共有リソースへアクセスするネットワークホストのインストール、またはワークステーションの個別インストールの場合、多くの利点をもたらします。DSN ファイルは集中保管が可能です。クライアントごとにデータベース接続を設定する必要がなくなります。

ファイル DSN タイプが選択された既存の ODBC 接続の名前には接尾辞（Global）または（User）を伴って表示されます。

### 3.5.22 TermStar : データ構造における拡張

#### データレコードの構造における拡張

TermStar データレコードの構造は以下のフィールド / サブエントリにより拡張されました。

--- ヘッダフィールド : データレコード GUID

--- エントリおよびサブエントリフィールド : エントリ GUID

--- サブエントリ : ユーザーインデックス 1、ユーザーインデックス 2、ユーザーインデックス 3、ユーザーインデックス 4、ユーザーインデックス 5（単一の [ユーザーインデックス] のみではない）

#### データレコード GUID とエントリ GUID

データレコードを作成および / またはメインエントリまたはサブエントリを追加する際、独自の ID（GUID = Globally Unique Identifier）を自動的に生成するかを辞書ごとに個別に指定できるようになりました。



生成された GUID はヘッダフィールドの [GUID]、または、メインまたはサブエントリのフィールド [GUID] に表示されます。

作成されたデータレコードと、追加されたメインまたはサブエントリは GUID によって明確に識別されます。

#### 注：Web Term による拡張されたデータ構造のサポート

WebTerm で新しいフィールド（データレコード GUID、エントリ GUID、サブエントリ GUID）または追加のサブエントリタイプ（ユーザーインデックス 2～5）を使用するには WebTerm をアップデートする必要があります。詳細はお近くのシュタール社へお問い合わせください。

### 3.5.23 WebTransit（新バージョン）：マルチユーザーモードと XLIFF プロジェクトのサポート

新しいバージョンの WebTransit は Transit/TermStar NXT に統合されました。

新しいマルチユーザーモードでは、特に翻訳企業向けにジョブを担当するユーザーを切り替えることができます（[マルチユーザーモード：単一ジョブ内でのユーザー変更を許可]）。利用可能なジョブすべてを含むジョブリスト、接続設定、全プロジェクトの全ファイルはいつでもすべてのユーザーが利用できます。この目的を達成するため、Transit インストールフォルダ下の config\global と projects フォルダに保存されたデータはローカルネットワーク上で利用できる必要があります。

WebTransit も XLIFF プロジェクトに対応しました。

### 3.5.24 一般的な拡張

#### プロジェクトテンプレートのソートにおける拡張

すべてのプロジェクトテンプレートがリストされるウィンドウのいずれにおいても、ユーザーにより作成されたプロジェクトテンプレートはリストの最上部に表示されます。

#### 「Default」プロジェクトのファイルタイプに [MS Office 95-2010]

定義済みの「Default」プロジェクトのファイルタイプに [MS Office 95-2010] が選択されました。

#### Transit NXT Freelance Pro：MS Office フィルタが使用可能

Transit NXT の Freelance Pro エディションでも MS Office フィルタが利用可能になりました。MS Office フィルタにより Word、PowerPoint、Excel データを単一のプロジェクトで取り扱うことができます。

## 3.6 サービスパック 6 の改善点

### 3.6.1 Windows 8 および Windows Server 2012

Transit/TermStar NXT は Windows 8 および Windows Server 2012 システムに対応しました。

#### 注：

Transit/ の使用には Microsoft .NET 2.0 が必要です。このため、Windows 8 または Windows Server 2012 システムへ Transit/TermStar NXT をインストールする際、Microsoft .NET Framework 3.5 を有効にする必要があります。Transit/TermStar NXT のインストール中、Microsoft .NET Framework 3.5 は自動的に追加されます。これにはインターネット接続が必要とされるため、Windows 8 または Windows Server 2012 システムへのインストールプロセスには長時間を要する可能性があります。

Windows メニューの [コントロールパネル][[プログラム]][[プログラムと機能]][[Windows の機能の有効化または無効化] からオプション [NET Framework 3.5 (NET 2.0 と 3.0 を含む)] を選択すると、Transit/TermStar NXT をインストールする前に .NET Framework 3.5 を有効にすることができます。この操作についてもインターネット接続が必要です。

### 3.6.2 AutoCAD に対応

AutoCAD R13/R14 および AutoCAD 2000～AutoCAD 2012 で作成された DXF ファイルに対応しました。

### 3.6.3 Adobe InDesign CS6 用の InDesign Gate

InDesign CS6 用の InDesign Gate がリリースされました。

--- Adobe InDesign CS6 (Windows) での作業に使用する InDesign Gate CS6



--- Adobe InDesign CS6 (Mac) での作業に使用する InDesign Gate CS6

プラグインはウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) のダウンロードエリア内 **[Downloads]** | **[Transit NXT & TermStar NXT]** | **[Accessories]** からダウンロードできます。詳細は「*InDesign Gate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

### 3.6.4 QuarkXPress 9、9.1 および 9.2 用の XTension : XGate

QuarkXPress 9/9.1/9.2 用の XTension : XGate がリリースされました。

--- QuarkXPress 9/9.1/9.2 (Windows) での作業に使用する XGate 9

--- QuarkXPress 9/9.1/9.2 (Mac) での作業に使用する XGate 9

XTensions はウェブサイト [www.star-group.net](http://www.star-group.net) のダウンロードエリア内 **[Downloads]** | **[Transit NXT & TermStar NXT]** | **[Accessories]** からダウンロードできます。詳細は「*XGate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

### 3.6.5 RTF ファイルの PDF プレビュー

RTF ファイルから作成された PDF ファイルを PDF ビューアで表示できるようになりました。

### 3.6.6 インドの言語を追加

以下のインドの言語が追加されました。

パンジャブ語、オリヤー語、タミル語、テルグ語、カンナダ語、マラーヤラム語、アッサム語、マラーティー語、サンスクリット語、シンハラ語

### 3.6.7 OpenOffice スペルチェック辞書

サービスパック 6 以降、Transit NXT の初期または更新インストールプロセスにより `[spell]` フォルダーへ使用制限のない HunSpell 互換のスペルチェック辞書がインストールされます。

すべての対応言語およびインストールされるファイルについては「Transit/TermStar NXT インストール」マニュアルの 10 章「スペルチェック辞書」を参照してください。

`[spell]` フォルダーに既存する辞書ファイルは上書きされません。

### 3.6.8 プリトランスレーションの優先順位オプションの追加

プリトランスレーションにおいて、参照材料の優先条件としてセグメントステータスのランク（例：`[チェック済み 2]` が最上位）が考慮されるようになりました。プロジェクト設定の **[プリトランスレーション]** タブの **[参照材料の優先順位]** セクションに、デフォルト値に `[セグメントステータス]` を持つリストボックスが追加されました。

この新しい優先条件については Transit NXT の旧バージョンとの互換性は保障されていません。

**注：**

サービスパック 6 に更新された Transit NXT で作成したプロジェクトをサービスパック 5 以前の Transit NXT で作業する場合、以下にご注意ください。

--- プロジェクト設定の **[プリトランスレーション]** タブで、**[参照材料の優先順位]** に **[セグメントステータス]** は表示されません。その他のオプションのみが表示されます。

--- プリトランスレーションにおいて **[セグメントステータス]** は考慮されません。その他の優先条件は考慮されます。

選択された優先順位はファジーマッチウィンドウでのファジーマッチの表示順序にも影響します。必要に応じて調整することができます。

### 3.6.9 バーチャル結合されたセグメントの分割

バーチャル結合されたターゲット言語セグメントを任意のカーソル位置で再分割できるようになりました。Transit エディターのコンテキストメニューから実行できます。

### 3.6.10 作業言語の分類を最適化

サービスパック 6 では作業言語の分類が最適化されました。以下が変更されました。

中国語のユーザーインターフェース：

--- 作業言語が完全に並べ替えられました。

全言語でのユーザーインターフェース：

--- [ イビビオ語 / エフィク語 ] を [ エフィク語 / イビビオ語 ] に改訂

--- [ フラマン語 ] を [ オランダ語 (ベルギー) ] に改訂

### 3.6.11 カスタマイズされた形式の用語集を TermStar NXT 辞書へインポート：言語ごとに2つ以上の用語を1データレコードへインポート

カスタマイズされた形式（例：Excel で作成され、CSV または Unicode 形式に変換された用語集リスト）のファイル TermStar NXT へインポートする際、1 データレコードの各言語に対して、2 つ以上の用語をメインエントリまたはサブエントリの用語としてインポートすることができます。特定のメイン / サブエントリ フィールドに用語が正しくインポートされるには、TermStar NXT が正しく認識できるようにインポートファイル内で各言語の情報が適切に区切られている必要があります。つまり、メインエントリまたはサブエントリの用語の後ろにそれぞれのエントリのサブフィールドがあり、その後ろに次のメインエントリまたはサブエントリの用語が続く必要があります。

詳細は「TermStar NXT Import/Export」マニュアルを参照してください。

## 3.7 サービスパック 5 の改善点

### 3.7.1 FrameMaker 10 に対応

Adobe FrameMaker 10 に対応しました。

### 3.7.2 Adobe InDesign CS 5.5 用の InDesign Gate

InDesign CS 5.5 用の InDesign Gate がリリースされました。

--- Adobe InDesign CS 5.5 (Windows) での作業に使用する InDesign Gate CS 5.5

--- Adobe InDesign CS 5.5 (Mac) での作業に使用する InDesign Gate CS 5.5

上記プラグインは [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。詳細は「*InDesign Gate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

### 3.7.3 QuarkXPress 9 および 9.1 用の XTension : XGate

QuarkXPress 9 および 9.1 用の XTension : XGate がリリースされました。

--- QuarkXPress 9 および 9.1 (Windows) での作業に使用する XGate 9

--- QuarkXPress 9 および 9.1 (Mac) での作業に使用する XGate 9

XTension はウェブサイト [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。詳細は「*XGate - Installation & Usage with Transit NXT*」マニュアルを参照してください。

### 3.7.4 Adobe InDesign および QuarkXPress のレイヤーをサポート

Adobe InDesign および QuarkXPress 文書を Transit へインポートする際、ファイルタイプの設定に追加された新しいオプションにより **[非表示のレイヤーを無視]** することができます。

また、新しいオプション **[レイヤーを対象外とするファイル]** を使用すると、Adobe InDesign または QuarkXPress 上での表示 / 非表示に関わらず、Transit へインポートする際に選択したレイヤーを無視することができます。これには、インポートしないレイヤーの名前を含むレイヤーファイルを事前に作成し、選択しておく必要があります。

### 3.7.5 MS SQL Server 2008 R2 Express SP1 のサポート

MS SQL Server 2008 R2 Express SP1 に対応しました。

### 3.7.6 ソース言語ファイルのセグメント分割および結合

ソース言語ファイル上でもセグメントの分割が可能になりました。セグメンテーションが適正でない場合にとっても便利です（例：オリジナル文書上で2つの文章の間にスペースが欠如していたため1セグメントに2文が含まれる場合）。

ソース言語ファイルでも、次に続くセグメントとの結合が可能になりました。

ソース言語でセグメントを分割または結合すると、ターゲット言語ファイル上の対照セグメントも自動的に分割または結合されます。

### 3.7.7 品質チェック用のレポートマネージャー

品質チェック用のレポートマネージャーを使用して、フォーマットチェックおよび用語チェックのチェック範囲に関するエラーの項目と数を分析することが可能です。

品質チェックの分析中に検出されたエラー

--- [ファイルナビゲーション] ウィンドウに表示されます (Transit NXT に標準装備)。エラータイプまたはファイル名でソートすることもできます。

--- HTML、Excel、または XML 形式のレポートファイルに書き出すことも可能です (Transit NXT 標準装備ではなく、オプション)。

注：Transit NXT Freelance (Webshop でのみ販売) では品質チェック用レポートマネージャーは使用できません。

### 3.7.8 WPF ベースのリソース DLL ファイルに対応

バイナリリソースファイルフィルタでは WPF ベースのリソースライブラリを Transit へインポートし、ローカリゼーション作業を行うことが可能になりました。

この機能には Microsoft .NET Framework Client 4 および Microsoft Visual C++ 2008 SP1 Redistributable Package (どちらも x86 または x64、Windows OS に依存) のインストールが必要です。Microsoft .NET Framework Client 4 自体が Windows XP SP3、Windows Vista SP1 または Windows 2003 Server SP1 を要件としています。

### 3.7.9 Transit NXT の [メモ] ウィンドウに初期翻訳 (STAR WebCheck で修正する前の翻訳) を表示

あるセグメントの翻訳が STAR WebCheck 上で修正された場合、以前の翻訳 (WebCheck で修正する前の翻訳) および旧訳と現訳の相違が [メモ] ウィンドウに表示されます。

[メモ] ウィンドウで使用する新しいショートカット：

--- SHIFT+PLUS: : 次の WebCheck での修正セグメント

--- SHIFT+ マイナス : 前の WebCheck での修正

--- SHIFT+CTRL+ プラス : 次のターゲット言語コメントまたは次の WebCheck での修正

--- SHIFT+CTRL+ マイナス : 前のターゲット言語コメントまたは WebCheck での修正

Transit エディターのターゲット言語ウィンドウで利用できる新しいショートカット：

--- SHIFT+ プラス : 次の WebCheck での修正セグメント

--- SHIFT+ マイナス : 前の WebCheck での修正セグメント

## 3.8 サービスパック 4 の改善点

### 3.8.1 MS Office 2010 に対応

Transit が現在対応している形式：

--- MS Word 2010

--- MS Excel 2010

--- MS PowerPoint 2010

### 3.8.2 Quicksilver 3.5 に対応

Quicksilver 3.5 に対応しました。

### 3.8.3 MS Office ファイルのプレビュー

MS Office ファイル (Word、Excel、PowerPoint) を翻訳する際、該当するプログラムでのプレビューが可能になりました。ターゲット言語ウィンドウ内のセグメントを右クリックすると、プレビューを開くためのオプションがメニューに表示されます。

### 3.8.4 アンパック中のプロジェクト辞書の名前を変更するオプション

新しいプロジェクトの設定オプションでは PPF ファイルをアンパックする際に自動的にプロジェクトの辞書名を変更することができます。

プロジェクトマネージャーはこの機能を利用するためのオプションをプロジェクトファイル (\*.PRJ) に設定することができます。

- (1) プロジェクトが開かれていないことを確認
- (2) PRJ ファイルをテキストエディターで開き、[Exchange] の項に以下のパラメータを追加します。  
ReceiveDicsProjectMode=1

- (3) PRJ を保存し、プロジェクトを Transit で開き、PPF ファイルを作成 (パック)

辞書を含む PPF がアンパックされる時、辞書の名前にはプロジェクトの名前が自動的に追加されます :

<dictionary name>\_<project name>.

アンパックされたプロジェクトを削除すると、プロジェクト辞書も削除されます。

## 3.9 サービスパック 3 の改善点

### 3.9.1 MS Office 2007 に対応

Transit が現在対応している形式 :

- MS Word 2007
- MS Excel 2007
- MS PowerPoint 2007

### 3.9.2 MS Word の PDF プレビュー

MS Word ファイルに対しても PDF プレビューが使用可能になりました。Transit でインポートをする際に PDF を作成する必要があります。

要件 :

- インポート時に PDF を生成するため、インポートを実行する PC には Word 2007 がインストールされている必要があります。Transit で翻訳作業を実施する工程では Word 2007 は不要です。
- MS Office 2007 のアドインである SaveAsPDFandXPS のインストールが必要です。このアドインは Microsoft 社のウェブサイトからダウンロードできます。インストール後、このアドインは MS Office 製品すべてに適用されます。

Word ファイル (バージョン 2007 以下) のインポート中、ファイルごとに PDF が自動生成されます。[プロジェクトのインポート] ウィンドウにオプション [PDF プレビュー用ファイルの作成] があります。

### 3.9.3 インポート時の PDF 作成

[プロジェクトのインポート] ウィンドウの新しいオプション [PDF プレビュー用ファイルの作成] を選択すると、PDF プレビューで使用するための PDF がインポート実行時に作成されます。このオプションは以下のファイルに有効です :

- MS Word
- MS PowerPoint

MS Word のプロジェクトでは、Transit のこの機能を利用して PDF を作成する必要があります。

MS PowerPoint のプロジェクトでは Transit のこの機能を利用するほか、別のどのような方法で PDF を作成しても構いません。

この新しいオプションは以下の要件が満たされていれば利用可能です。

- インポート時に PDF を生成するため、インポートを実行する PC には Word 2007/PowerPoint 2007 がインストールされている必要があります。Transit で翻訳作業を実施する工程では Word 2007/PowerPoint 2007 は不要です。
- MS Office 2007 のアドインである SaveAsPDFandXPS のインストールが必要です。このアドインは Microsoft 社のウェブサイトからダウンロードできます。

インストール後、このアドインは MS Office 製品すべてに適用されます。Word/PowerPoint ファイル (バージョン 2007 以下) のファイルのインポート中に、ファイルごとに PDF が自動生成されます。

### 3.9.4 Adobe InDesign CS 5 用の InDesign Gate

InDesign CS 5 用の InDesign Gate がリリースされました。

- Adobe InDesign CS5 (Windows) での作業に使用する InDesign Gate CS5
- Adobe InDesign CS5 (Mac) での作業に使用する InDesign Gate CS5

上記プラグインは [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。

詳細は「*InDesign Gate - Installation & Usage*」マニュアルを参照してください。

### 3.9.5 XGate 7 (Windows および Mac) : 複数ファイルの一括処理と PDF 作成

XGate 7 以降、複数ファイルに対する処理機能が含まれています。

- TTQ ファイルの生成
- PDF ファイルの生成
- TTQ ファイルの再インポート

### 3.9.6 QuarkXPress 8 および 8.1 用の XTension : XGate

QuarkXPress 8 用の XTension : XGate がリリースされました。

- QuarkXPress 8 (Windows) での作業に使用する XGate 8
- QuarkXPress 8 (Mac) での作業に使用する XGate 8
- QuarkXPress 8.1 (Windows) での作業に使用する XGate 8.1
- QuarkXPress 8.1 (Mac) での作業に使用する XGate 8.1

XTension はウェブサイト [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。詳細は「XGate - Installation & Usage with Transit NXT」マニュアルを参照してください。

#### 重要情報 :

内部のフォーマットアルゴリズムに関連し、データによってはスタイルに関する問題が発生することがあります。

### 3.9.7 TermStar が MS SQL 2008 に対応

TermStar は MS SQL 2008 に対応しました。

### 3.9.8 アライメント機能の改善

特定のアライメント確率を持つセグメントへカーソルを直接移動させることができます。削除すべきセグメントへのカーソルを移動させることも可能です。

### 3.9.9 ダイアログに関する改善

Transit NXT がスタンドアロンでインストールされている場合、[Transit NXT について] ウィンドウにソフトウェア保護に関する情報 (Site Code および Machine ID) が表示されます。

### 3.9.10 アクティブなモードの表示

ステータスバーにユーザーが作業中のモード (例 : アライメント、重複、プルーフリーディング) が表示されます。

### 3.9.11 プロジェクトの作成と交換

プロジェクトをアンパックする際、フォルダに関連するダイアログが改善されました。プロジェクトを作成および交換する際、デフォルトのスコープとフォルダ階層を定義できるようになりました。

[ユーザー環境の設定] | [フォルダの選択] を確認してください。

### 3.9.12 プロジェクト交換 : 互換性

Word 2007 プロジェクトの PPF ファイルが翻訳者へ送信された場合、翻訳者は以下のいずれか 1 つを満たす必要があります。

- Transit NXT サービスパック 3 以上での作業
- 翻訳者が使用中の Transit NXT がサービスパック 2 以下の場合、マルチメディアファイルに対する同期をオフに設定  
以下の 2 つのオプションはリソースバーの [同期プレビュー] にあります。
- ソースプレビューのファイル形式 : マルチメディア
- ターゲットプレビューのファイル形式 : マルチメディア

### 3.9.13 統計情報 : 内部重複

レポートマネージャに重複を考慮するオプションが追加されました。  
カウントの対象を定義できます :



- すべて
- 重複のみ
- 重複以外

### 3.9.14 フォーマットチェック：新しいオプション

正規表現を使用して検索可能な新しいオプションが2つあります。

- リボンバー [レビュー] | [フォーマットチェック] | [オプション] | [変更なし - 例外リスト]
  - リボンバー [レビュー] | [フォーマットチェック] | [オプション] | [保護されたストリングのチェック]
- 句読点もチェックできます：リボンバー [レビュー] | [フォーマットチェック] | [オプション] | [句読点チェック]

### 3.9.15 用語チェック

用語チェックの際に例外を許可することができます。矛盾する用語が検出された場合、使用すべき訳語をハイライトできるダイアログが表示されます。

訳語は次のファイルに保存されます：

`\config\users\<ユーザー名>\<辞書名> (<データベース名>) _<ターゲット言語の拡張子>.TCA` (ファイル名で特定されている) 辞書が使用されている場合、該当ユーザーによるすべての用語チェックにおいてこのファイルは有効です。

### 3.9.16 ファジーマッチにおける変更

一部のデフォルト設定は変更されました。

- ショートカットキー [Alt] + [Insert] : Transit ボタン | [ユーザー環境の設定] | [デュアルファジー] | [ソース言語] | [[ALT] + [INS] でセグメントに訳例を取り込み、翻訳を確定]。デフォルトではこのオプションは選択されていません。
  - リボンバー [マッチ] | [ファジー検索 (ソース)] | [挿入 100% マッチ] : デフォルト設定は [常に挿入しない]。これらのデフォルト設定の変更は新規のインストールまたは新規にユーザーが作成されたときにのみ適用されます。
- リボンバー [プロセス] | [確認] ([Alt] + [Ins] と同じ) は、以下のオプションにより拡張されました。
- スペースのチェック
  - 句読点のチェック
  - 次のセグメントを空にする

さらにソースファジーウィンドウでの相違を示す方法を定義できます。Transit ボタン | [ユーザー環境の設定] | [デュアルファジー] | [ソース言語] | [更新のハイライト方法] を確認してください。

### 3.9.17 セグメントフィルタ

重複に対するセグメントフィルタのオプションが改善されました。

### 3.9.18 ユーザーロール管理の改善

ユーザーロールの管理における機能性と利便性が拡張されました。

- マイユーザーロールに対するパスワード保護が可能になりました。
- 無効にされた機能グループは非表示にすることができます。

### 3.9.19 バックアップコピー

ランゲージペアのバックアップコピーを作成する間隔をリボンバー [編集] | [その他の機能] | [バックアップコピー] で定義できます。

### 3.9.20 用語に対するバックグラウンド検索の改善

バックグラウンド検索に新しいオプションが追加されました。Transit ボタン [ユーザー環境の設定] | [用語検索] で選択できます。

- 完全一致のみ
- 大 / 小文字の区別



### 3.9.21 マークアップ用語

用語ウィンドウ内で青色でマークされる「マークアップ用語」を辞書に登録できます。用語ウィンドウ上でこの用語を右クリックするとカレント辞書へ、またはラピッドエントリモードを使用して用語を辞書へ登録することができます。

### 3.9.22 TermStar ダイアログの改善

以下のダイアログが改訂されました。

--- プロジェクト辞書として辞書を開くまたは追加

--- フィールドコンテンツに対するグローバルでの変更を実行する場合、[詳細] ダイアログが改善されました。

### 3.9.23 TMX ファイルの TermStar インポート / エクスポート

Term Star NXT サービスパック 3 で対応：

--- TMX ファイルを TermStar 辞書へインポート

--- TermStar 辞書を TMX ファイルへエクスポート

--- 標準データレコードフィルタを使用してのインポートとエクスポート

### 3.9.24 TermStar のデータレコードフィルタ

言語エントリおよびサブエントリに関するデータレコードフィルタのオプションが拡張されました。

### 3.9.25 TermStar のインポート / エクスポートのオプション拡張

データレコードフィルタのオプションにより TermStar のインポート / エクスポートのオプションが拡張されました。

### 3.9.26 TermStar でのマージ

TermStar で辞書をマージする際、2 つ以上の言語による同期を定義することができます。

### 3.9.27 WebTransit

WebTransit では以下の新機能が導入されました。

--- SFTP/FTPS と HTTPS に対応

--- 暗号化されたファイルの転送

## 3.10 サービスパック 2 の改善点

### 3.10.1 パフォーマンスの改善

速度性能が向上しました。

### 3.10.2 DITA に対応

サービスパック 2 で DITA 形式に対応しました。

## 3.11 サービスパック 1 の改善点

### 3.11.1 QuarkXPress 7 用の XTension : XGate

サービスパック 1 に伴い、QuarkXPress 7 用の XTension : XGate がリリースされました。

--- **Mac** : QuarkXPress 7 (ヨーロッパ版) 用の XGate

--- **Windows** : QuarkXPress 7 (ヨーロッパ版) 用の XGate

XTension はウェブサイト [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。詳細は「*XGate - Installation & Usage with Transit NXT*」マニュアルを参照してください。

## 重要情報：

内部のフォーマットアルゴリズムに関連し、データによってはスタイルに関する問題が発生することがあります。

### 3.11.2 インストールの改善

インストールルーチンが改善されました。

### 3.11.3 アライメントツールの改善

アライメントの機能が改訂され、ユーザーフレンドリな設計と直観的な動作が強化されました。

### 3.11.4 レポートマネージャの改善

レポートの機能が拡張されました。

### 3.11.5 Transit エディターの改善

ランゲージペアに対する処理スピードが改善されました。セグメントに対する処理とナビゲーションが改善されました。

### 3.11.6 重複に対するプルーフリーディング

重複に対するプルーフリーディング機能が導入されました。

### 3.11.7 プロジェクトブラウザの改善

サービスパック 1 で、プロジェクトブラウザは UNC 名に対応しました。

### 3.11.8 リボンバー [レビュー] タブの改善

リボンバー [レビュー] タブにおける機能性と利便性が拡張されました。

### 3.11.9 ユーザーロールのコンセプトとプレゼンテーションの改善

ユーザーロールの定義とプレゼンテーションが拡張されました。

### 3.11.10 クメール語を作業言語として追加

クメール語が新たに作業言語として追加されました（言語コード：KHM）。

### 3.11.11 ユーザーインターフェースの追加言語

- 中国語
- スペイン語
- 日本語

### 3.11.12 ヘルプを呼び出すためのアイコン

専用のアイコンからヘルプを呼び出せるようになりました。

### 3.11.13 TermStar フィルタの機能性の改善

データレコードフィルタに以下のオプションが追加されました。

- 全言語での言語エントリの表示
- サブエントリに対するフィルタの選択および適用

## 3.12 バージョン 4.0.0.671 の改善点

### 3.12.1 InDesign CS2 for Windows および InDesign CS2 for Mac に対応するプラグインの拡張

Transit NXT のバージョン 4.0.0.671 と共に、InDesign CS2 for Windows および InDesign CS2 for Mac のプラグインがリリースされました。このプラグインはオプションです。

上記プラグインは [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。

### 3.12.2 InDesign CS3 Gate for Windows に対応するプラグインの拡張

Transit NXT のバージョン 4.0.0.671 と共に、InDesign CS3 for Windows のプラグインがリリースされました。このプラグインはオプションです。

上記プラグインは [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。

### 3.12.3 InDesign CS3 Gate for Mac に対応するプラグインの拡張

Transit NXT のバージョン 4.0.0.671 と共に、InDesign CS3 for Mac のプラグインがリリースされました。このプラグインはオプションです。

上記プラグインは [www.star-transit.net](http://www.star-transit.net) のダウンロードエリアからダウンロードできます。

### 3.12.4 FrameMaker 9.0

バージョン 4.0.0.671 で FrameMaker 9.0 に対応しました。

FrameMaker フィルタはオプションです。

### 3.12.5 インストールの改善

Transit/TermStar NXT バージョン 4.0.0.671 で、インストールが拡張されました。

### 3.12.6 MySQL Version 5.x に対応

Transit/TermStar NXT バージョン 4.0.0.671 で、TermStar は MySQL version 5.x に対応しました。この機能はオプションであり、特別なライセンスキーにより使用が可能になります。

この機能を使用するにはお近くのシュタール社へお問い合わせください。

### 3.12.7 セットアップの改善

バージョン 4.0.0.671 でセットアップが拡張されました。

### 3.12.8 セグメントフィルタの改善

バージョン 4.0.0.671 でセグメントフィルタの機能が拡張されました。

### 3.12.9 アライメントツールの改善

バージョン 4.0.0.671 でアライメントツールの機能が拡張されました。

### 3.12.10 エディターの改善

バージョン 4.0.0.671 で一般的なエディター性能が拡張されました。

セグメントのバーチャル結合の機能が改善されました。

### 3.12.11 スペルチェックの改善

バージョン 4.0.0.671 で参照材料ベースのスペルチェックが拡張されました。

オープンソース辞書でのスペルチェックにブルガリア語が追加されました。

## 4 解決済みの問題

下記の問題はこのサービスパックで解決されています。

注意：

Readme ファイルの編集期限のため、本サービスパックで解決済みの問題がこの章に記載されていない場合があります。この章には本サービスパックで解決されている問題のみが記載されています。これ以前のサービスパックで解決された問題は記載していません。

### 4.1 Transit

#### インポートの機能性

以下のファイルのインポート動作の拡張

- Word 2007、2010、2013 ファイル
- 脚注を含む Word ファイル
- 挿入式を含む MS Office ファイル
- 埋め込まれた Visio 2013 オブジェクトを含む MS Office ファイル
- 非表示のシートを含む Excel 2010 ファイル
- フッタを含む Excel 2013 ファイル
- 保護されたセルを含む Excel ファイル
- 非表示のスライドを含む PowerPoint ファイル
- OpenOffice Calc ファイル
- OpenOffice Writer ファイル（索引タイトルの翻訳に対応）
- AutoCAD 2010 DXF ファイル

#### エクスポートの機能性

以下のファイルのエクスポート動作の拡張

- PowerPoint 2010 および 2013 ファイル
- Word 2013 ファイル
- Excel 2010 ファイル
- OpenOffice Writer ファイル

#### Transit エディター

Transit エディターにおける用語検索の向上

#### プロジェクトのパック / 翻訳のパック

辞書を含むプロジェクトのパック時の動作の向上

XLIFF または SDLXLIFF プロジェクトの翻訳のパック時のマークアップ処理の向上

XLIFF プロジェクトのパック時のマークアップ処理の向上

SDLPPX プロジェクトのアンパック時の動作の向上

[ ユーザー環境の設定 ] で顧客に割り当てた辞書を使用するプロジェクトの動作の向上

#### フォーマットチェック / 用語チェック

フォーマットチェック動作の向上（文字列の長さチェックや末尾のスペースの数のチェックなど）

エラータブの更新時の動作の向上

用語チェック時の動作の向上（適正でない用語の検出）

数字チェック時の動作の向上

## プリトランスレーション/ファジーマッチ

プリトランスレーションやファジーマッチ適用時のマークアップ処理の向上  
双方向参照マテリアルの処理の改善

### [用語] ウィンドウ

[用語] ウィンドウから（アルファベットアイコンをダブルクリックして）用語エントリを挿入する時の動作の向上  
作業フォルダ内のランゲージペアの書式付ストリングを用語として表示する時の動作の向上  
タイ語文字の表示の改善

### Transit レポート

James 用の Transit レポート（\*.james, \*.rep）で、ページベースや行計算を個別の要素 <unitbase> として出力できるようにになりました。

### WebTransit

WebTransit でジョブを削除する時にプロジェクトの辞書も同時に削除  
再送信されたジョブのダウンロード時の動作の向上

## 4.2 TermStar

WebTerm インダイレクトダウンロードからデータベースへの用語集のインポート時の動作の向上  
TBX エクスポート実行時の動作の向上  
タイ語文字の表示の改善